

令和7年度 深川学区まちづくり協議会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・前年度に引き続いて地域カフェや地域食堂を実施することにより、地域住民の交流の場として活性化を図ることができた。
・協議会が実施する事業を地域住民に直接周知できる体制を構築するべく検討を進め、協議会独自のホームページを立ち上げた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	深川学区における地域交流推進事業	(3)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	深川学区まちづくり協議会事務所（名称：ふかわのうちに）	
(3) 参加者数	495 人	
(4) 主催団体	団体名 深川学区まちづくり協議会	
4 取組内容	令和6年度から開始した地域住民のふれあい・交流の場である地域カフェ、地域食堂を令和7年度も引き続き実施した。 また、地域住民を対象に、健康に関する市民講座を開催した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	少子高齢化の進展に加え、単身世帯が増加する一方で、労働環境や生活環境も著しく変化しており、これまで地域が有していた相互扶助などの機能が低下しつつある。こうしたことを踏まえ、令和6年度に新たに整備したまちづくり協議会の事務所（別称：ふかわのうちに）が地域コミュニティ活性化の場として、こどもから高齢者までの地域住民が自然に立ち寄り、そして、ふれあいの場となるような事業を実施する。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	事業開催の周知と参加者募集は、自治会の回覧板等を中心に行ったが、多くの参加者があり、繰り返し参加する住民もいて大変好評で、交流機会の増加につながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	J R 芸備線の利用促進と地域活性化事業	(3)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__年__月__日 ～ 令和__年__月__日	
(2) 実施場所	—	
(3) 参加者数	— 人	
(4) 主催団体	団体名 深川学区まちづくり協議会	
4 取組内容	平成7年度は、芸備線の利用促進等に係るアンケート調査及びシステム構築費（アンケート調査結果の住民意向を集約する際のシステム構築）として予算措置していたが、令和8年度へ必要経費を繰越すことにした。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 J R 芸備線の広島～三次間については、広島市を含む関係自治体や国、J R 西日本とで芸備線活性化について協議する任意の再構築協議会が設置されており、令和9年度中に、今後の方針が公表される。こうしたことを踏まえ、赤字路線のJ R 芸備線に関しては、利用者の視点からの利用促進策が必要であり、深川学区のまちづくり方策を含め、地域としての提言に向けた取り組みを進める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 当地域は、三次市に向かって伸びるJ R 芸備線及び県道37号線が走っており、この交通幹線の利用促進を中心にしたまちづくりを進めることで、地域活性化にむけた効果的な取り組みができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	まちづくり協議会における広報体制の構築	(3)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	深川学区まちづくり協議会事務所	
(3) 参加者数	6 人	
(4) 主催団体	団体名 深川学区まちづくり協議会	
4 取組内容	広島市が管理している地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」を利用して、深川学区まちづくり協議会のホームページの運営を開始した。 このホームページにより、まちづくり協議会構成団体の行事など活動状況を発信した。 また、まちづくり協議会の主催事業である地域カフェ、地域食堂、健康教室（市民講座）についても、ホームページの利用のほか、地域に根ざした自治会の回覧板を利用した広報を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	まちづくり協議会のホームページや自治会の回覧板を利用してまちづくり協議会が取組む内容を周知し、住民参加型のまちづくりを推進していくうえでの一助とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	現在は、自治会の回覧板を中心に取り組み内容を周知しているが、住民の関心度等はかなり高い。今後、地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」を活用した広報を進めていくことで、地域住民に対するPR効果はさらに高まり、地域の活性化につながるものと考えている。	

3 自主財源で実施した事業

特になし